

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2012.3.5 No. 129 連絡先 FAX 042-555-1911



航空総隊司令部等の移転など横田基地について 福生市議会 3月定例議会 (メモ)

工事関係…○航空総隊司令部庁舎：備品等の搬入及び設置中。○通信線路整備工事は6月に完了予定。○隊舎外構工事、将官宿舎3月で工事完了。

移転人員等…○最終的な移転人員は約760名で40名ほど少なくなった。
○現在の移転人員は約110名。○3月末には隊舎に200名が入居予定。
○福生市に11名が住民登録。○武蔵村山市の宿舎には90戸が入居済み。

移設関連予算…平成24年度19億円、累計で約599億円。

単位百万円	H19	H20	H21	H22	H23	累計	H24	累計
契約ベース	14,272	13,605	20,925	5,628	3,600	58,030	1,900	59,930

横田基地にあるゴルフボール状アンテナについて…防衛省北関東防衛局を通じて米軍に照会したところ「第374空輸航空団では、問い合わせの通信アンテナは使用しておらず、横田基地には無い」旨の回答があった。

運用即応演習1月4日～6日…この演習は、仮想戦闘環境における基地の機能テストを実施するもので、6日には合計5機のC-130輸送機が基地上空において空中投下訓練を実施するものだった。

運用即応演習2月21日～24日…パブリックアドレスシステム、地上爆発模擬装置は使用されたが、航空機の使用はなく市民からの苦情は無い。

サムライサージ訓練1月10日…この訓練は、日本を含む太平洋地域の安全を守り、緊急事態に備えることを目的とし、横田基地第36空輸中隊がC-130輸送機6機の編隊飛行を行ったもので、砂袋等の投下訓練も実施。

落下傘降下訓練1月11日、12日…第36空輸中隊による通常訓練であり、兵士の空中投下訓練も定期的に行っている。なお、米軍からの説明では、任務の遂行上、空中投下は最重要の任務であり、その能力の維持向上のためにも、横田基地で空中投下訓練を行うことは必要不可欠とのこと。

日米共同統合演習・キーンエッジ1月11日～31日…この演習は、昭和60年度から開始され、今年で19回目。今回は実動演習ではなく、指揮所演習で机上訓練。航空機や艦艇は参加していない。市ヶ谷駐屯地と横田基地が中心となり実施された。参加部隊は自衛隊から統合幕僚監部と陸、海、空の各幕僚監部など、米軍からは、太平洋軍司令部、在日米軍司令部、及び陸、海、空軍、海兵隊などが参加。

コブラゴールド12・多国間共同訓練 2月7日～17日…タイ王国で、日本のほか、アメリカ合衆国、タイ王国、シンガポール共和国、インドネシア共和国、大韓民国、マレーシア等が参加し、実施。

バード・ストライクについて…横田では音で鳥を飛行区域から立ち退かせるための装置を飛行区域内に17か所設置するなど、バッシ・プログラムと呼ばれる活動を行っている。横田基地は鳥による被害が少ない基地。



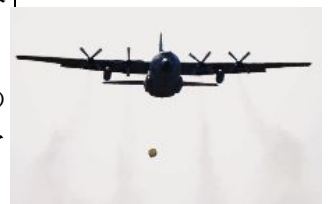
↑ 航空総隊のマークの航空総隊司令部庁舎など米軍再編で、計600億円。



↑ あるのに「ない」？ゴルフボール状アンテナ。



↑ 2月21日、「横田作戦即応能力を維持するために一週間の運動に参加」と米軍横田基地HPに。



↑ 2月28日、C130、3機で、箱らしきもののパラシュート投下訓練。

日米共同軍事演習 米軍と自衛隊の行動を容易にする目的 (No. 129 の裏面)

1、2月に横田基地で、相次いで日米共同軍事演習が行われました。福生市議会の一般質問の答弁は、「仮想戦闘環境における基地の機能テストを実施するもの」、「日本を含む太平洋地域の安全を守り、緊急事態に備えることを目的」、「横田基地で空中投下訓練を行うことは必要不可欠」等と言ひ、日米の危険な軍事行動を日常的なものと認めています。戦争につながる軍事演習反対！

米海軍厚木基地 最新鋭の電子戦機EA-18Gグラウラー配備へ

在日米海軍司令官は2月3日、米海軍厚木基地に配備されている空母艦載機部隊のうち、EA-6B プラウラー電子戦機に代えて、最新鋭の電子戦機 EA-18G グラウラー (写真：米海軍 HP) をこの春、配備すると発表しました。部品落下事故の少し前のことです。



運用する部隊は第141電子攻撃中隊。同機はFA-18F スーパーホーネット戦闘攻撃機をモデルに開発され、昨年2月に実戦配備されたばかりで、海外への常駐配備は初めて。電子戦機は、敵が発する電波の探知や電波妨害で通信網を破壊するのが主任務。

コープ・ノース・グアム参加の戦闘機から燃料タンク落下 (2・23朝雲ニュースより)

【航空幕僚監部は2月16日、米グアム島アンダーセン空軍基地などで行われている日米豪共同訓練「コープ・ノース・グアム」(2月11日から24日まで)に参加している8空団6飛行隊(築城)所属のF2戦闘機が午後5時47分ごろ(現地時間)、同基地北東約170キロの太平洋上で訓練中、両翼下の機外燃料タンク2本が落下したと発表した。現時点で被害は確認されていない。

タンクは長さ約6メートル、最大直径約80センチ、空の状態では重さ約170キログラム。落下は操縦者の誤操作によるもので、片岡空幕長は17日の会見で「誠に申し訳ない。誤操作に起因する過去の事例や外装物の投棄手順などの再教育を徹底し、再発防止に全力を傾注する」と話した。】

在日米軍基地 滑走路の長さを比べてみました

嘉手納飛行場の総面積は約19.95km²(横田基地の約2.8倍)。3,700mの滑走路が2本有り、200機近くの軍用機が常駐する極東最大の空軍基地です。滑走路は成田国際空港(4,000mと2,500mの2本)や関西国際空港(3,500mと4,000mの2本)と遜色なく、日本最大級の飛行場の一つですが、これが米軍に運用されています。



3本目の滑走路がほしいなどと言われています。嘉手納町は82%を基地が占めています。

三沢飛行場は、日本で唯一、民間、航空自衛隊、アメリカ空軍の3者が使用する飛行場です。横田基地には第5空軍(嘉手納、三沢、横田)の司令官がおり、在日米軍司令官が兼任です。

滑走路の長さ調べ	米軍飛行場の名称と所在地	滑走路
嘉手納飛行場 (米空軍)	沖縄：嘉手納町、沖縄市、北谷町	3,700m × 2本
横田飛行場 (米空軍)	東京：福生市、昭島市、立川市、武蔵村山市、羽村市、瑞穂町	3,350m × 1本
三沢飛行場 (米空軍、航空自衛隊、民間)	青森：三沢市	3,050m × 1本
普天間飛行場 (米海兵隊)	沖縄：宜野湾市	2,700m × 1本
岩国飛行場 (米海兵隊、海上自衛隊)	山口：岩国市	2,440m × 1本
厚木飛行場 (米海軍、海上自衛隊)	神奈川：綾瀬市、大和市	2,438m × 1本